

## 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・初詣の人出が、前年比15%増と増加に転じている。好天に恵まれたのと明るい話題に支えられて、大勢の人で今日もにぎわっている。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・10～12月の第3四半期はエコカー補助金が切れて販売量は落ち込んだが、年明けの初売りから新車販売は好調に転じている。中古車も、価格の高止まりで収益に貢献している。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・みんな明るい顔をして、どんどん買物している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新商品の投入効果もあってか、地元観光地の取引先を中心に、好調な数字で推移している。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・まだ期待したほどには良くなっていないが、何となく良くなっている。客の様子を見ると、全くの閉塞感から少しずつ動いている。これから、まだまだ期待できる。
		百貨店（経理担当）	単価の動き	・購買単価、購買点数共に改善が見られ、消費者からは節約志向から支出拡大への変化が感じられる。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・新政権が発足し、アベノミクスと株価上昇の報道等により、景気マインドは上向きになっている。初売り後の再値下げ時期にも、来客数、売上は共に堅調であり、前年を上回る見込みである。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・セール品もセール品以外も、売行きは好調である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・宝飾時計などの高額品の需要も引き続き堅調であり、今月は特にその傾向が強く表れている。衣料品なども、若干ではあるが、回復感が見受けられる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数の増加は期待できないが、1人当たりの買上点数の増加は、少しではあるが認めることができる。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年同月比で、客単価は2.5%ほど上がっている。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・年末年始の休日数が多かったこともあるが、前年同月を上回る商品群が増えてきている。しかし、1品単価は低下しており、利益も減っているため、単純に回復しているとは言えない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売は好調に推移している。前年同月と比べても、上回っている。新車投入効果もあり、購買意欲は高い。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・今月から新規客も含めた来客数が増えており、車の受注も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政権交代してから、車の売行きは良くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税を見込んだリフォーム、新築需要が開始している。持ち家住宅、分譲マンション共に、販売戸数は多くなっている。また、民間設備投資も増加傾向である。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・新政権への期待からか、雰囲気は良くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年明け早々の受注は例年少ないが、中旬から後半にかけては、4月以降の旅行の受注が始まっている。例年以上の受注または見積があり、景気は多少良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・来店客の申込内容を見てみると、1ランク上のホテルにしたり、充実した内容のツアーにしたりする傾向が見受けられる。デフレで激安の旅行商品があふれているが、そのツアーよりも1ランク上のツアーを申し込んでもらえる。財布のひもは、多少緩くなってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・前年と比べると、新年会等の集まりは少し増えている。月後半の売上は少し伸び悩んでいるが、前半は前年と比べると良い。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数はそれほど減っていないが、新規契約数は回復しつつある。客の反応も良くなってきている。		
通信会社（営業担当）	それ以外	・政権交代後に、円安や公共事業等の話題が新聞紙上等をにぎわしている。円安等は必ずしも景気回復とは結び付かないと考えるが、産業界には良い刺激になっている。		

	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の会話を聞いていると、正月休みや連休でレジヤーンに出掛けた人が多くなっている。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・正月明けの消費は、それほど活発ではない。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・地元の中小規模小売店は、相変わらず苦戦している。全国チェーンの大手企業に客が奪われている状態は続いている。同業他社からも良い話題は全く聞かれず、リストラや閉店、廃業を検討しているといった話題が多い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ここ3か月間、客単価は下がっているが、販売量は増えているので、売上は横ばいである。小物は売れているが、包装資材や手間が増えるため、利益幅はかえって縮小傾向である。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は伸びているが、1人当たりの客単価がますます低くなってきているため、販売量や販売高につながらない。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・政権交代したが、食品の動きには何も影響していない。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・取引先の飲食店への来客数が、安定的には増えていない。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・売上は前年と変わらないが、寒い日が多く、来客数はやはり落ち込んでいる。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・売上は、前年と変わらないか下回る状況が続いている。客単価も低く推移していて、政権交代後も消費に結び付いている感じはない。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	お客様の様子	・客の様子には明るい部分も感じられるが、デフレ状態が続く中、慎重な買い方が目立っている。当店の売上は、前年同月をようやく達成という状況であり、横ばい状態が続いている。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・12月のクリスマスセール、1月のバーゲンセール共に横ばいである。そのセールも終わり、来客数は少ない。ドラッグ業界では、調剤部門は順調であるが、市販薬部門はインフルエンザが増えているにもかかわらず低調であり、全体としてはやはり横ばいである。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランス初日は来客数が多く、購買意欲も感じられた。それ以降は、決まった商品しか買わない傾向に戻っている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・1月2日からクリアランスが始まり、前半は買わなければ損という感じで、つられて買っている客が多かった。しかし、月後半からは落ち着いてきて、クリアランスにも飽きて、ただ見ているだけの客が多い。バーゲンで気に入った商品がなければ定価で買う客もいる一方で、安くて良い商品がなければ買うのをやめる客もいる。買う人は高い物でも買うが、買わない人は我慢している。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・年始の福袋販売については、前年と同様に好調であった。ただし、クリアランスがスタート後の衣料品の売上は、伸び悩んでいる。景気が上向いていても、消費にはまだ結び付いていない。
	百貨店（販売担当）	販売量の動き	・政権交代により、円高や株価上昇が企業へのプラスの要素として出つつあるため、マインドは以前よりも明るい兆しがある。しかし、実態への影響はほとんどなく、購買動向にも大きな変化はない。効果が実際に出てくるのは、数か月先ではないかと思われる。
百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・来客数は直近の傾向値よりも増えているものの、買上客数は伸びていない。客単価もやや下がっている。売上の傾向値は若干改善の兆しが見えるものの、良くないとまでは言えない。	
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・今年は初売りとセールを同時にスタートする店舗が多く、正月時期はどこも集客があり、活気付いた。しかし、休み明けには例年より早く閑散期が訪れ、結果としては変わらないかやや前年を下回りそうである。他店も同様の様子である。景気が上向きという声もあるが、今の時点ではまだ実感できない。	

スーパー（経営者）	お客様の様子	・好立地で55年間営業してきたガソリンスタンドが、この3月で閉店する。中小企業はギリギリのところまで営業してきたが、持ちこたえられず、閉店に追い込まれている。景気はまだ良くなっておらず、利益も出ていない状態である。現時点では景気は良くなっていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、前年同月比97%前後の推移で変わらない。特に買上点数が伸び悩んでいる。
スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の下落はまだ続いている。以前は買上点数の増加によって客単価を維持していたが、買上点数の増加がなくなり、客単価の下落だけになっている。
スーパー（店員）	単価の動き	・1品単価が低い状態が続いている。安い商品だけが売れていく動きをしている。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・単価が上がらない。景気回復には程遠い状況である。消費税増税の決定と円安傾向に伴う輸入品の値上がり、消費を停滞させる要因になっている。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・売上は前年同月比98.8%で推移しており、数字はやや良くなっているが、前々年の金額には届いていない。
スーパー（支店長）	お客様の様子	・1月の消費の冷え込みは特に厳しく、景気の先行きが心配という雰囲気を感じる。特に製造業は厳しいとの声を聞く。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・若者の雇用者数や求人倍率が増えるという雰囲気がない。製造業の残業の発生や派遣の増加の話も聞かない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗売上は、前月と同様に前年同月を下回っている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上の前年同月比が右下がりの傾向にある中、他のエリアと比較してその要因を確認すると、来客数の減少が大きく影響している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・消費者は、無駄なものにはお金を使わない。夜遅くまで出歩かない傾向は、まだ続いている。当店の来客数も夜間を中心に伸びておらず、減り気味である。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・ファッション品は、ほとんど動いていない。ただし、介護衣料は売れている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・初売りは前年よりも好調であったが、その後に伸びが続かない。
家電量販店（店員）	単価の動き	・政権交代によって、景気が良くなったという雰囲気は確かにあるが、実際にはお金は回っていない。株価が上がったりして、気分的に明るくなる兆しがあるといったところである。住宅などで、消費税増税を先取りした受注があるという話は少し聞いている。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客との会話のなかで、将来的に出費が増えるため、今お金を使って良いのか不安で仕方がないといった話をよく聞く。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・株価の上昇など、景気好転の要素はあるものの、社会全体にはまだまだ好影響は出ていない。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・1月の動きとしては、今一つである。例年1月はそれほど良い月ではないものの、もう少し動いてもよい。来客数の動きも多いとは言えず、販売数の動きもそれに比例して良くない。悲観するほどではないが、3か月前と比べても変わらない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売環境は、ますます厳しさを増している。客が検討している車以外は、話に関心を持ってもらえない。欲しいと思っている車でないと、買う気はない様子である。自分の欲しい物だけ買って、それ以外は見向きもしないといった、余裕のなさが感じられる。
その他専門店 [雑貨]（店員）	単価の動き	・客は、同じ商品でも単価の動きをよく見ている。
その他専門店 [雑貨]（店員）	お客様の様子	・来客数が減少している。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の悪天候が原因で、今月は厳しい。
一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・客は正月にお金を使い、1月半ばの3連休でまたお金を使っている。その影響で、大変厳しい状況にある。

観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・3か月前は主に中国、韓国との領土問題の影響があったが、今月は正月三が日の一般個人客の利用も、前年と比べて2割ほど減っている。一般宴会も、前年は東日本大震災の影響で単発的な予約が多かったため、今月は予算目標も達成していない。	
都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・脱デフレの経済政策がうまく軌道に乗るかどうかにかかっている。	
都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・最近、ずっと横ばいである。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・現在の経営環境は、3か月前とあまり変わらない。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・客層は、経営者や公務員の富裕層とサラリーマンや年金暮らしの一般層の2つに分けられる。富裕層からは、暖かくなってくると旅行計画が多数出てくる。価格重視の層は、春以降はあまり期待できない。出張も、経費がかなり抑えられている。	
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・単価は、引き続き下がりつつある。格安航空会社の中部での就航を前に、価格低下はまだ進むと思われる。	
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・正月で来客数はどうしても少なくなるが、そのなかでも高額商品が売れている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・12月は、夜の繁華街の人出はそれなりにあった。年明け以降は、金曜日や土曜日の人出は多少あるが、他の日は4か月前と変わらない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・何か月も前から、人出の少なさは変わらない。例年、成人式から2月末ごろまでは暇な時期であるが、3月にどうなるかはわからない。財布のひもは固いため、お金が使いやすくなるような政策に期待している。	
通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・高仕様の光回線の値下げや、新しい割引サービスの開始に伴い、光回線の申込件数が増えている。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数は若干上向いているものの、好景気を感じられるほどではない。	
観光名所(案内係)	お客様の様子	・政権が変わり、皆期待している。これからどうなるのか、見極めようとしている。期待感に溢れている。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・来場者数、売上共に、好調に推移している。しかし、月末に雪の影響が多少出てくると思われるため、数字的には変わらない。	
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税増税を前に値上げしようとする動きは今のところ少ないが、客からは消費税増税の便乗値上げが出てきているのかといった問い合わせが増えている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・横ばい状態にある。	
その他住宅[不動産賃貸及び売買] (経営者)	来客数の動き	・年始の来客数は期待したほど伸びておらず、例年と変わらない。来客は週末に集中するので、伸びていると勘違いしてしまう。	
やや悪くなっている	一般小売店[贈答品] (経営者)	お客様の様子	・当面、サラリーマンの給料は増えない。事業所得税や消費税の増税などが控えており、可処分所得が増えることはない。その防衛策として、贈答品店では出費が控えられるようになっている。告別式に出席する場合でも、付き合いの範囲を狭くしたり、香典の金額を少なくしたりしている。結婚式も、派手さよりも実利重視で、安く仕上げている。贈り物やお返しも少量にするなど、ある意味で賢い選択になっている。贈答品店としては、派手さがなく困っている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・小規模の八百屋や飲食店では、年明けは総じて売れていない。悪い状況が続いている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・売上等が全く改善していない。
	スーパー(店長)	競争相手の様子	・近隣の競争店が、今までしてこなかったカテゴリで、値下げを始めた。自店では買上点数が減ってきたので、競争店の値下げ商品に価格を合わせ、更に特売を強化している。客も徐々に価格に敏感になっており、利益を圧迫することになりそうである。
	スーパー(店員)	単価の動き	・レタスやほうれん草などの葉物野菜が、日照時間の不足により不出来であるため、価格が高騰している。そのため、少量の買物で済ます動きが見られる。
	スーパー(店員)	単価の動き	・1人当たりの買物点数や金額が、前月と比べて落ちている。チラシ商品等でも、特売品のみを買って行く人が多い状況にある。

	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・年末年始明けで、今は例年並みに売上は少ないが、来客数がめっきり減っているのがわかるため、例年よりも悪い。	
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・月初の売上はまずまずであったが、中旬以降は来客数が減ってきている。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・高級外国車のクリーンディーゼル車が好調であるが、在庫がほとんどないため、販売登録ができていない状態である。	
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・日曜、祝日の来客数は、大幅な前年割れとなっている。客単価も低下している。個人客、家族客の動きが鈍化していることの表れと見ている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末で出費が増えたためか、1月は来客数が激減している。	
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、宴会共に、前年同月比はマイナスである。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・インターネット関連の申込件数が、減少している。	
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年1月は暇な月であるが、客はあまり来てくれない。良い話も聞かれない。	
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・1～3月は例年、これといったキャンペーンがないため、販売量は減少している。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・政権交代しても、末端には影響がない。	
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・景気が良くなっているという具体的な話は、全く聞かれない。	
悪くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今年の冬は特に寒いからかもしれないが、とにかく来客数が少なく、1人当たりの買上単価も低い。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・近くに大手コンビニが出店したことにより、売上、来客数共に大きく減少している。影響が少ないと考えていた当店併設の自動販売機の売上も、減少し始めている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲン中にもかかわらず、品定めに来店する客が少ない。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・政権交代への期待は高いが、売上や来客数はまだそれほど変わらない。新政権に景気回復を期待する。	
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客数が前年同月比で15%ほど減少する傾向が、12月からみられる。前年と比べると、宿泊客数はかなり減っている。福利厚生費や社員の交流費が削られている。	
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価が落ちてきている。	
	美容室（経営者）	それ以外	・前年の暮れからずっと寒くて、来客数は極端に少ない。当店はパーマと毛染めの客が多いが、客の高齢化もあって、出足は悪い。	
	理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話は聞かれない。お金を使わない。	
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・今年になって、他業者の売行きも非常に悪い。また、客の動きも非常に悪い。	
	企業動向関連（東海）	良くなっている	—	—
やや良くなっている		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・新製品の発売後、相当期間を経過しても、販売数量は安定している。客から価値を認められた結果と思う。多少高単価であっても、良い製品であれば販売できる状況になりつつある。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・全体的に受注量は上向いてきている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末と比べて、受注量、販売量共に微増している。ただし、鋼材単価の値上がり前に、少し早く買おうという動きの表れである。物の動きにつながってくればよいが、中小零細企業では先行きは相変わらず見えていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、受注見込み共に、増加傾向にある。
		一般機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・円高のため価格が折り合わず、あきらめていた北米の自動車産業で、プロジェクトが復活する動きがある。相変わらず活発な動きがあるアジアでも、今までは価格競争で勝ち目がなかったが、受注できそうな案件が出てきている。

	電気機械器具製造業	取引先の様子	・設備投資計画が具体的になり、実施に向けた動きが出てきている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安で好影響がある。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先で新機種が立ち上がっている関係で、生産は増えてきている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建共に、来場者数、契約件数が増加しつつある。消費税増税前の駆け込みの影響もあるかもしれないが、消費者マインドは上昇傾向にある。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・円高、株価の上昇などによって、企業マインドは改善している。
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、生産が総じて増加している。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・円安や株高により、従来塩漬けになっていた株や投資信託の値段が上がり、個人の投資マインドが戻ってきている。
	不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・年明けより、マンション販売センター等への来場者数が増加している。
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・アベノミクスの効果がある。株価の上昇が大きい。
	経営コンサルタント	競争相手の様子	・大都市中心部の賃貸マンションを中心に、取引は活発になってきている。
	公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業の業績及び資金繰りが厳しい。金融円滑化法の期限に対する出口戦略が決まっていない会社が多い。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設関係では、住宅建築や大規模修繕工事の受注が続いている。また、道路等の公共設備工事も進んでいる。
変わらない	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・予算目標を上回るような受注にはなっておらず、一般の円安、株高の影響も出ていない。今後3か月の売上予測も同ようである。
	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・医療機関では、冬に患者が増えるのが普通であるが、今年はあまり変化がみられない。少しでも出費を抑えようという意識の表れかもしれない。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・現状では、例年と同様に忙しい企業が多い。引き合いが増えているなど明るい材料もある一方で、原材料の値上げが心配である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて、受注量に大きな違いはない。景気回復の実感はまだない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の主力製品の生産は、この3か月間ほどは安定している。状況としてはあまり変わっていない。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年秋からずっと、景気は悪い。多少円安に向かっているが、受注が増えているとは感じられない。
	建設業（営業担当）	競争相手の様子	・一般廃棄物関係では下水道の普及が始まっているが、まだまだ浄化槽が多いため、以前と変わらない。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・日用雑貨関連の荷量は、相変わらず前年同月比95%前後で推移している。商品単価も、回復している様子はない。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・最近では円安、株高であるが、輸入、輸出共に貨物の動きにはまだ変化は出ていない。
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上の3か月前比は、前年同月が9.9%減、今月は0.3%増となり、10.2%ポイント良くなっている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・当社の取扱荷物は前年同月と全く同じであり、変わっていない。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・下げ止まった感はあるが、物量や単価は上向きにはなっていない。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車業界は、例年に比べてあまり良くない。瓦業界は、賃貸住宅や、太陽光発電機器を取り付ける住宅で需要があり、景気の良い企業もある。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所の新規紹介の案件はあるが、規模は小さい。事務所の集約が進んでおり、景気が本格的な上昇局面にあるとは思えない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業の動きは停滞気味であり、新しい動きもほとんどない状態が続いている。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・取引先企業の貨物の動きは、例年並みである。

	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・顧問先企業では、新規採用も少しずつあるが、初任給は上がっていない。社内のパソコンを20台ほど入替えた企業もあるが、使えなくなったための交換であり、積極的な設備投資とは言えない。	
	その他サービス業 [広告印刷]（従業員）	受注量や販売量の動き	・低迷状態が、そのまま続いている。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・産業の特定はできないが、受注量、販売量は全般的に少しずつ減少している。	
	その他非製造業 [ソフト開発]（経営者）	取引先の様子	・大きく円安に振れており、景気の先行きは確かに明るく感じられる。今までちゅうちょしていた案件が次々と決まっている。経営者としてはこのままの状態が続いて欲しい。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ2、3か月間の使用量、生産量は、2割ほど減少している。客先の受注状況も含めて、現状はやや悪くなっている。	
	紙加工品 [段ボール] 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの、中国向け輸出梱包資材の注文が停滞したままである。そのため、段ボール生産量は落ち込んでいる。	
悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売数量は、減少している。	
雇用関連 (東海)	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・政権交代後、株高、円安の影響から、製造業の景気は良くなっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員採用の求人が、着実に増えてきている。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新政権への期待から円安、株高が進行しており、景気は少し上向いている。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・株価が示す通り、製造業を中心とした輸出型産業には明るい兆しが出てきている。裾野の産業にも、時期が遅れて恩恵が見込まれる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・円高の緩和や年度末に向けた生産によって、自動車生産は上向き傾向にある。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、介護・福祉関係施設の増設や新設に伴い、増加している。また、3月に就職する大学生等のアルバイトが多い学習塾の講師求人や、派遣会社から製造業への短期雇用の新規求人が増えている。ただし、自動車部品等を製造している事業所では、非正規社員を中心に新規求人数は減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比は、29か月連続で増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・取引先企業の研究開発需要は、予算調整の要素もあり、以前ほどの勢いがなくなっている。そのため、技術者派遣の需要も勢いがなくなっている。
人材派遣会社（社員）		求人数の動き	・例年に比べても、新年会、同窓会の利用が好調であり、特に同窓会は2割ほど増加している。そのため、派遣注文も引き続き好調である。	
人材派遣会社（支店長）		採用者数の動き	・季節要因を除いた稼働者数は、前年同月比数%のマイナスで推移しており、傾向に大きな変化は見られない。	
新聞社 [求人広告]（営業担当）		求人数の動き	・新政権の政策はともかく、実体経済はまだ変わっていない。	
職業安定所（職員）		雇用形態の様子	・正社員の求人が少なく、パート社員の求人が非常に多い状況にある。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・全体の新規求人数は増加しているが、基幹産業の製造業では減少している。そのため、全体としては変わらない状況が続いている。	
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・新規求職者数は減少傾向にあったが、年明け以降は増加に転じている。契約満了、更新なし、事業縮小、事業廃止による解雇等の離職者や、契約満了を控えた在職中の退職者が目立ってきている。これは例年の傾向ではあるが、前年を上回る状況にある。特に45歳以上の中高年齢者の比率が高くなってきている。	

	職業安定所（次長）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった規模の雇用調整は、このところ新規には発生しておらず、公表済みのものに止まっている。また、新規求職者数も下げ止まりの傾向にあり、前年同月比は増減を繰り返している。有効求職者数の前年同月比は3か月連続で上昇しており、就職できない求職者の滞留がうかがえる。一方、求人数の前年同月比の増加率は1けた台に低下しているが、増加基調は維持している。雇用からみた景気の方向性は、不透明である。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外展開している企業からは、景況感が不透明であるため人材を探す動きは弱まっているという話と、逆に海外に人材を出すため国内の人材を補強したいという話があり、二極化している。</li> </ul>
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融業界では、消費税増税対策として、派遣活用の縮小傾向が顕著である。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料品、金属製品、汎用機械、輸送用機械の製造業、卸売・小売業、運輸・郵便業では、求人数の減少が継続している。サービス業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業では、増加の動きが見られる。ただしその要因は、年末年始の季節的要因であったり、直接雇用を派遣に置き換えたりであり、底堅い増加ではない。全体としては、製造業、卸売・小売業、運輸・郵便業等の求人数の動きが悪く、まだ悪化傾向にある。</li> </ul>
悪くなっている	—	—	—